

2022年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

教員氏名	高橋 弘 (Takahashi Hiroshi)		職 位	学 長	学 位	文学士 (英語英文)
	専門分野	英語教育				
研究課題	テーマ	大学生の英語教育と4技能を統括した実践英語力の向上				
	概要	実社会で使える基本的な英語技能の定着と持続可能な英語力の向上				
本年度 研究業績	研究費	総額： 15万 円 内訳：個人研究費 15万 円 / 科学研究費 円 そ の 他 円				
	研究テーマ	大学生の英語教育と4技能を統括した実践英語力の向上				
	経過と到達点	能率的な英語理解の方法と技能の習得（英語脳の形成）				

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート等					
⑦学会での 口頭発表、 討論者（デ ィスカッサ ント）	能率的、実践的英語 学習の一考察：日本 語理解脳から英語理 解脳への転換を意識 した学習法	令和5年 3月9日		京都経済短期大学 経営情報学会研究 報告会	

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書	持続可能な社会に向け て	2023年3 月	京都経済短期大学経営 情報学会	30周年記念書籍
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義		
	演習		英語プレゼンテーションの基礎
	実習		
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目		
	◆ 演習科目	<p>実社会、実生活で使える発信型の英語力を身につけるために、人前での英語による発表、特にビジネスにおける英語プレゼンテーションの場面を想定して、発音・発声・ノンバーバル表現、話すスピード、間等の技術的な技能と発表原稿の構成等の知識について演習を中心に指導をした。特に、発音については様々な教材を取り入れて聞くこと、話すことを一体化させた指導に力を入れた。これにより、受講者のスピーキングは、ネイティブの発音に近づいた。それと同時に、英語に対する興味も持たせることに繋がった。また、英語原稿を作成することで書く力や語彙力も高まった。</p>	

	<p>実習科目</p> <p>◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）</p> <p>教科書の使用を基本としながら、学生が主体的に学習できるように適宜プリントを作成し理解や応用力の向上を図った。また昨今の課題である社会生活でのコミュニケーション能力不足も考えながら、学生に発話することの大切さと、わかりやすく相手に伝わる表現指導に力を入れた。</p>
--	--

(1) 課外活動

①研修旅行 国内	
②研修旅行 国外	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長	
②委員・アドバイザー	

（2）講演会

分 類	活動・講演の概要
③講演者・登壇者	

4. 特記事項（本年度のみ）

--